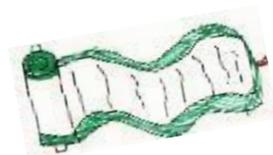


親子ふれあいフェスティバル（運動会） に向けての取り組み

忍者まつり

でもだちがいるから



今年度の夏祭りでは、年長組のコーナーの中で、電車コーナーやゲーム、お化け屋敷、おみせやさんなど、いろいろなものを考えて準備してくれました。その中で、“なりきって遊ぶ楽しさ”を感じられた子もいました。

年長組の担任が、子どもたちに、どんな運動会にしたいか？と問いかけたところ「みんなで忍者になり切って楽しみたい！」という意見が多かったこともあり、今年は忍者をテーマに取り入れ、そして、自分が少し困難なことや苦手なことも、友達がいるからこそ頑張れる！という思いをもってほしいという願いを込めて、サブテーマを「友達がいるから」とし、取り組んでできました。その中での様子を一部ではありますが、ご紹介させていただきます。



急にテーマが忍者だと言って、進めていくのではなく、日々の遊びの中で忍者になり切ることを楽しんでほしい、と考えた先生たちが、ホールで忍者修業ができる環境を準備しました。

「つなわたりのじゅつ」「とびいしのじゅつ」「かくれみのじゅつ」「しゅりけんしゅぎょう」のコーナーに分かれ、子どもたちが自然と体を動かしながら、忍者になり切ることを楽しんでいきます。





加納幼稚園は、「運動会」に向けて、毎日遊ぶ時間もなく、練習する、ということとは決してなく、いつも通りの生活の中で、子どもたちの興味のあることや楽しめることを基盤に、また時には教師が新しい遊びを紹介したりしながら、体を動かすことを楽しんでいます。

こうして体を動かす遊びをたくさん取り入れていくことで、子どもたちの運動会に向けての気持ちが少しずつ高まっていきます。

3歳児





**3歳児の子どもたちは、とにかく毎日元氣
いっぱいです。**

**2学期が始まってからも、これまで楽しんで
いた砂遊びや色水遊び、固定遊具での遊びも楽
しみつつ、新しい遊びにも、興味を示して、と
にかくやってみようと意欲的です。ボールを投
げたり、走ったり、綱を引っ張ったり、と遊び
の中で、いろいろな体の使い方を学んでいきま
す。**

3 歳児





3歳児の子供たちが楽しみながら体を動かす遊びを、どんどん取り入れていきます。
バランスを取りながら平均台を渡ったり、
ゴールで待つ先生のもとへかけっこをしたり、
巧技台からジャンプしたり・・・ダンスも先生が踊る様子を見ながら、真似をして踊ってみるところから、繰り返し踊ることで、自然と音楽に合わせて動けるようになっていきます。

3歳児





ただ、年少組の子どもたちは、“体を動かすことは楽しい！”と思っても、「運動会」というものにはピンと来ていないかもしれません。

日々の中で、加納小学校の校庭もお借りして、かけっこや体操などもしていますが、当日はおうちの人も来て、大勢の人が見ていることもあり、もしかしたら緊張してしまったり、不安になって泣き出したりしてしまうかもしれません。

運動会当日に、参加できていないと、「参加できなかった」とがっかりしてしまうかもしれませんが、園での生活の経験を経て、年中、年長ではまた違った姿を見せてくれることと思います。

4歳児





4歳児の子どもたちは、体を動かす楽しさに加えて、“自分はたんぽぽ組” “自分と〇〇ちゃんはれんげ組” というようなクラスの意識も強くなり、みんなと一緒に取り組む楽しさを感じつつあります。

みんなで同じ遊びが経験できるように、みんなが集まって玉入れをしたり、かけっこをしたりしています。

時にはクラス対抗でやってみたりして、同じクラスの子と一緒に頑張ってみるという気持ちをもちつつあります。

4歳児





年長児の姿を見て、自分たちも「やってみたい！」とドッジボールやりしー、サーキット遊びなどに取り組んでいきました。

思ったようにうまくできなくて、ちょっとその場から離れてしまうことがあっても、友達や先生を支えに一緒にやってみるといふ姿も見られるようになってきました。

4歳児





**4歳児の子どもたちも、体を動かすことも楽し
みつつ、自分たちで忍者になりきることも楽
しんでいます。**

**布を身にまとったり、忍者の衣装や剣、手裏剣
なども自分たちで作っていました。
忍者のポーズも決まっていますね。**

**4歳児は、昨年度を経験しているので、「運
動会」がどういうものかわかってきて、楽しみ
にしている姿もあります。**

5歳児





5歳児は、夏祭りも経験し、自分たちで遊びを進めていこうという気持ちが強くなってきています。

自分たちがこれまで遊んできたものを組み合わせ、サーキットを組んで遊んだり、一輪車や縄跳びなども継続して遊んだりしています。

5歳児





忍者と言えばお城がいるね！ということで、「みんなでお城を作ってみよう！」と城づくりに取り掛かることにしました。

「お城はどんなふうになっているかな。」

「屋根は何色かな」と本やタフレットで調べながら色を塗ったり、石の模様を描いていきます。

少しずつ城が出来上がってくると、

「わぁ」とみんなで喜んだり、「中に入れるようにしたい！」とみんなで話し合っているときに意見を言ったりして、自分たちの城にしていけます。

5歳児





リレーもいろいろ試行錯誤しながらやってみました。
最初は何となく走っていたリレーも、繰り返し取り組むうちに「勝ちたい！」という気持ちが芽生えてきました。

「さくら組だけで練習しよう」「いちょう組は、お茶の時間の後にみんなで集まろう！」といった具合に、少しずつ互いのクラスに勝ちたい気持ちが芽生えてきました。

チームのメンバーも自分たちで話し合っていて決めています。

また、チーム対抗でリレーをする前には「頑張るぞ！

おー！」といった具合に掛け声を掛けたり、「〇〇ちゃんががんばれー！」と友達のことを応援したりして、リレーはみんなで力を合わせてするもんなんだ、まさにサブテーマの“友達がいるから”こそ頑張れるんだ、という思いになってきているのだなと感じています。当日、どのように力を合わせて、思いっきり走ってくれるのか、楽しみですね。

5 歲兒



加納幼稚園年長児が毎年取り組んでいる、ろく木からのジャンプです。

取り組み始めたときは、上まで登ることや、そこから跳ぶことが怖くて、先生に手を持ってもらったり身体を支えてもらったりしていましたが、何度も繰り返すうちに「もう大丈夫」と一人でジャンプしたり「ここからなら跳べそう」と自分で跳べそうな高さから跳んだりしていくようになりました。

最初は、怖さを少しでも和らげようと高さを感じにくい室内で跳ぶことから始め、慣れたところに園庭に肋木を出して跳んでみたりしてきました。自分で落ちないように気を付けながら、少しずつ力強く跳んでいます。

とは言っても、やっぱり怖い気持ちもあります。

先生に体を支えてもらったり、友達に応援してもらったり・・・

「ちょっと怖いな。」「跳べるかな。」という気持ちを乗り越えて、当日はきっと元気いっぱい跳んでくれることと思います。



当日をお楽しみに…